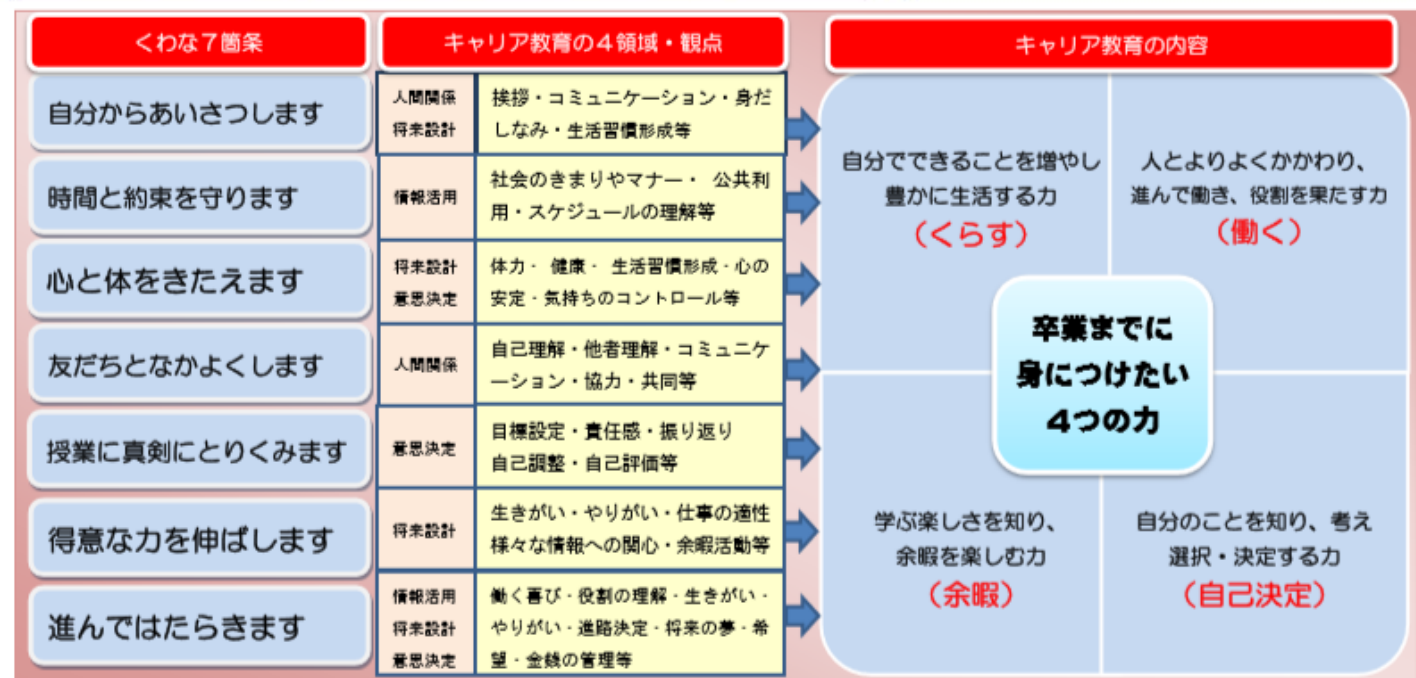


くわなキャリアプラン(くわな特別支援学校キャリア教育全体計画)

教育目標	教育方針	児童・生徒・保護者の願い
地域で学び、地域と関わり、地域で活躍する子ども	1 一人ひとりの課題を的確に把握し、その改善・克服により自立を支援します。	・友だちと一緒に働きたい。
くわな七箇条	2 基本的な生活習慣を身につけ、健康で安定した生活を送るための体力・精神力を育みます。	・好きな買い物や旅行がしたい。
・自分からあいさつします	3 良好な人間関係の形成、集団への参加などの社会性を育みます。	・働いて給料がほしい。
・心と体をきたえます	4 キャリア教育を推進し、自らの人生を決定しようとする態度や勤労観を育みます。	・一人で生活をしたい。
・授業に真剣に取り組めます		・身辺自立の力をつけてほしい。
・進んではたらきます		・人とうまくつきあう力をつけてほしい。
		・豊かな生活をおくってほしい等。

学部目標
○ 小学部 1 基本的な生活習慣の育成によって、身辺自立の向上を図る。 2 心身共に健康な身体を育てる。 3 集団生活を通じて、人との関わりを基礎を育てる。 4 興味・関心の幅を広げ、主体的に生活できる力を育てる。 ○ 中学部 1 基本的な生活習慣の定着の上に、自ら安定的な生活をおくる力を育てる。 2 体力の向上及び精神的な安定を図る。 3 集団での活動を通じて、人間関係のつくり方や基本的な社会のルールの習得を図る。 4 勤労観を育てるとともに社会的自立の基礎を築く。 5 自分の生活を豊かなものにしていく姿勢を育てる。 ○ 高等部 1 基本的な生活習慣の確立により、自立的な生活をしようとする態度を育てる。 2 体力の向上及び精神的な安定を図り、健康な生活を送る力を育てる。 3 集団生活の中で、人との関わりを豊かにし、協力する態度を育てる。 4 社会的自立、職業的自立に必要なコミュニケーション力や社会性を養う。 5 勤労観や態度及び職業観を育てる。 6 学ぶ楽しさや余暇を楽しむ力を育て、卒業後の地域社会での生活に役立つ力を養う。

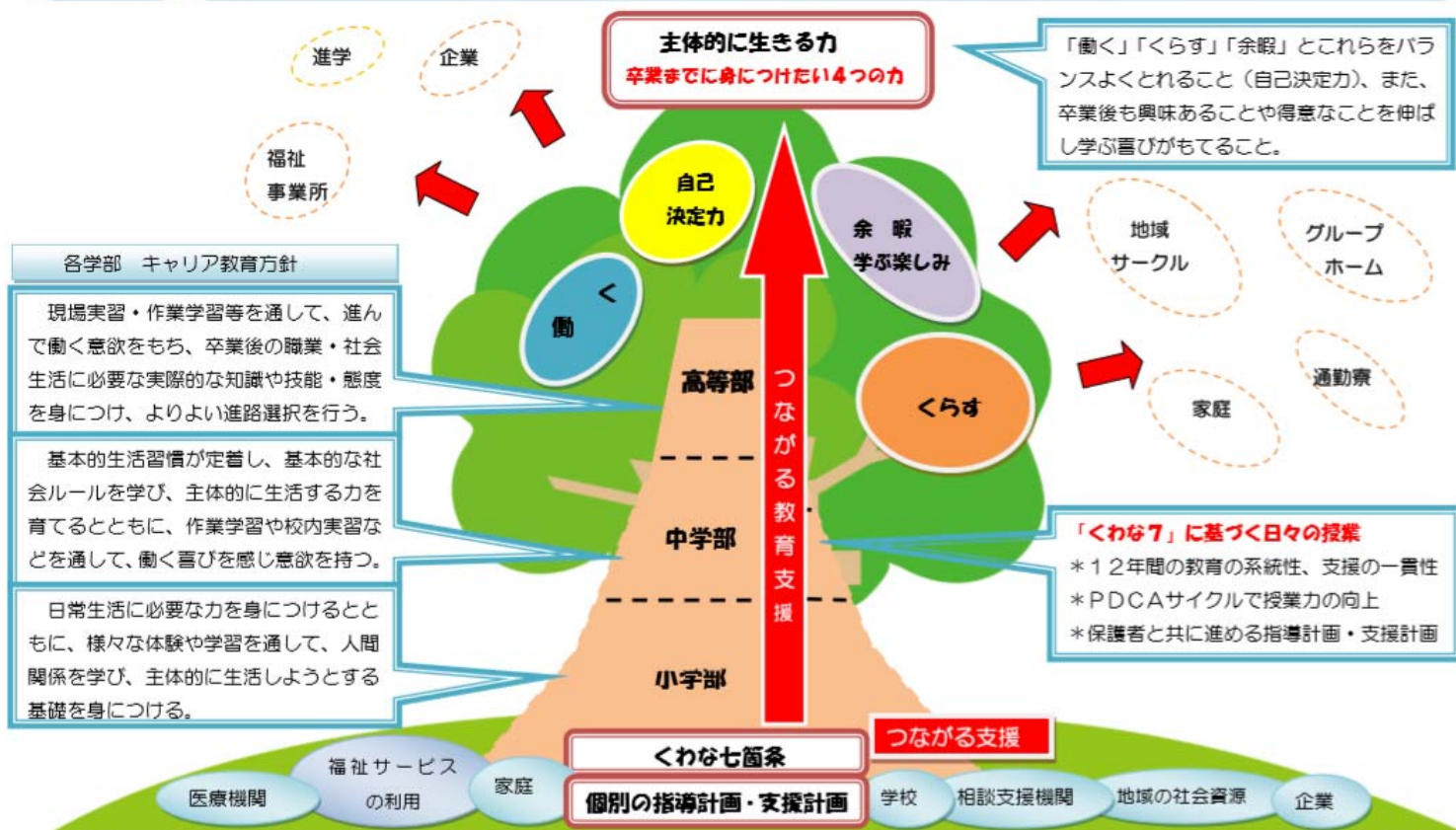
キャリア教育の目的
「自立」と社会参加、豊かな生活の実現に向けて、ライフステージや発達段階に応じた課題や役割を果たすことで「主体的に生きる力」を身につける。
キャリア教育の内容
「くわな7（セブン）」に基づいて、卒業までに身につけたい4つの力（「主体的に生きる力」）を育てる。
キャリア教育の推進に向けて
小・中・高12年間の学習内容・支援を途切れなくつなぐ教育を進めるために、「くわな7」に基づいた教育を学校全体で行う。 ① 個別の指導計画・支援の作成への反映 ② キャリア教育の視点での授業づくり ③ キャリア学習プログラムや年間学習計画の作成



各分掌の役割						キャリア教育推進委員会
総務部	教務部	研修部	支援部	生活部	進路部	
・地域連携 ・人権教育・交流教育(学校間・居住地域校)・保護者連携	・教育課程 ・年間指導計画 ・キャリア学習プログラム	・授業改善 ・キャリア教育についての研修	・個別の指導計画・支援計画への反映 ・地域への発信 ・関係機関との連携	・生徒指導計画 ・学校保健計画(生の学習含む)・食に関する指導の全体計画	・進路学習の計画 ・校内実習・現場実習の計画 ・職場開発	・キャリア教育全体計画の作成・推進 ・管理職・学部主事・研修・教務・進路等で構成

「地域で学び、地域と関わり、地域で活躍する子ども」 — 「自立」と社会参加、豊かな生活の実現—

職業(仕事)や生活など自分の人生に関わって、適切な支援を受けながら自己選択・自己決定し生活の主体者として生きていくこと。
自分らしく何らかの形で地域とかかわり、その中で役割を担って、生き生きと生活し、活躍すること。



くわな7

学 部	小学部	中学部	高等部
キャリア発達段階	生活に必要な基礎的な力を獲得する時期	職業及び家庭生活にかかわる基礎的な力を獲得する時期	職業及び卒業後の家庭生活に必要な実践的な力を獲得する時期
七箇条 方 針 領 域	日常生活に必要な力を身につけるとともに、様々な体験や学習を通して、人間関係を学び、主体的に生活しようとする基礎を身につける。	基本的な生活習慣が定着し、基本的な社会のルールを学び、主体的に生活する力を育むとともに、作業学習や校内実習などを通して働く喜びを感じ意欲を持つ。	現場実習・作業学習等を通して進んで働く意欲を持ち、卒業後の職業・社会生活に必要な実践的な知識や技能・態度を身につけ、よりよい進路選択を行う。
自分からあいさつします	将来関係形成	挨拶	☐ 人のかかわりを受け入れる。 ☐ 自分から人にかかわろうとする。 ☐ 身振り・サイン・カードなど伝わるコミュニケーションの手段を持つ ☐ 「はい」「いいえ」の返事をする。 ☐ 「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 ☐ 挨拶をされたらかえす。 ☐ 身近な人に自分から「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の挨拶をする。
			☐ 身体を清潔にしたり、身だしなみを整えたりする。 ☐ 挨拶の種類と使い方がわかる。 ☐ 初対面の人に自分からあいさつをする。 ☐ 声の大きさ・姿勢に気を付け、相手の顔を見るなど、相手にとって気持ちのいい挨拶ができる
時間と約束を守ります	情報活用	身だしなみ	☐ TPOに応じて適切な振る舞いをする。(挨拶・服装・敬語など適切な言葉遣い・職場での上下関係・接客マナー・電話の仕方など)。 (作業学習のねらいから) ☐ 働くために必要なスキルを身につける ・(人とやりとりする力) 報告・連絡・挨拶・言葉遣い・返事・適切な接客
		きまり	☐ 日常生活に必要な簡単なきまりがわかる(待つこと、順番、危険なこと、やってはいけないことなど)。 ☐ 日常生活に必要なきまりを守って行動する。
			☐ 相手や場に応じた適切な振る舞いを知る(挨拶、身だしなみ、適切な言葉遣い、教員と友達の区別など)
時間と約束を守ります	情報活用	公共利用	☐ 日常生活に必要な簡単なきまりがわかる(待つこと、順番、危険なこと、やってはいけないことなど)。 ☐ 日常生活に必要なきまりを守って行動する。
			☐ 身近な公共施設の場や公共物、公共交通機関を利用する。 ☐ 公共施設や公共物、公共交通機関の働きを知り、マナーを守って利用する。
			☐ 公共施設や公共物、公共交通機関を目的に応じて利用する。
時間と約束を守ります	見通し	見通し	☐ 授業の始まりと終わりがわかる。(時計・チャイム・タイマーの理解) ☐ 一日の大体の予定がわかり、見通しをもって行動をする。(時計の理解)
			☐ 集団行動や社会生活に必要なきまりを守って行動する。 ☐ 予定の変更を理解して行動する。 ☐ 時間を意識して行動する。
時間と約束を守ります	見通し	見通し	☐ 社会生活に必要な法律や慣習を知る。 ☐ 生活に生かせる制度を知り、必要に応じて利用することを理解する。(相談機関、労働機関、福祉サービスの利用、権利侵害やトラブルの対処など)
			☐ 一日の予定を把握して、自ら行動する。 ☐ 学習に必要なものを事前に準備したり、時間に余裕を持って行動したりする。

学 部		小学部	中学部	高等部
キャリア 発達段階		生活に必要な基礎的な力を獲得する時期	職業及び家庭生活にかかわる基礎的な力を 獲得する時期	職業及び卒業後の家庭生活に必要な実際の力を 獲得する時期
七箇条	方 針 領 域	日常生活に必要な力を身につけるとともに、様々な体験や学習を通して、人間関係を学び、主体的に生活しようとする基礎を身につける。	基本的な生活習慣が定着し、基本的な社会のルールを学び、主体的に生活する力を育むとともに、作業学習や校内実習などを通して働く喜びを感じ意欲を持つ。	現場実習・作業学習等を通して進んで働く意欲を持ち、卒業後の職業・社会生活に必要な実際の知識や技能・態度を身につけ、よりよい進路選択を行う。
心と体をきたえます	意 思 決 定 設 計	体力 □身体への様々な刺激を受け入れることができる。 □粗大運動や柔軟運動(様々な動き)をたくさん体験しボディイメージを持つ。 □様々な遊びにチャレンジすることができる。 □様々な道具の使い方を体験する。 □身体を動かす楽しさや喜びを感じ、意欲を持つ。	□継続した様々な運動に取り組み体力を向上させる。 □粗大な動作、細かな動作、様々な道具の取り扱いが必要な活動に取り組む。	□体を動かすことを生活習慣に取り入れ、健康の維持や仕事の継続に必要な体力を身につける。
		生活習慣 □家庭や学校生活に必要な基礎的な習慣を身につける。(身近な大人と一緒に⇒援助を受けて⇒一人でする) ・生活リズム:睡眠と覚醒のリズムを整える。 ・食事:好き嫌いを減らし、食事のマナーを意識して、一人で食事をする。 ・排泄:尿意・便意の伝達、定時排泄⇒尿意・便意を感じてトイレに行く。 ・衣服等の着脱:着脱の仕方を身につける。 ・自分のことは自分です。	□家庭や学校の自立した生活に必要な習慣を身につける。 □規則正しい生活をする。 □衣食住に関する基礎的な知識や技能を身につける。 □体の成長に関心を持ち、健康・安全に気をつけて生活をする。 □排泄マナーを身につける。 □日常生活での身辺処理の力を高め、自立心を高める。 □苦手なことにも取り組むことができる。	□社会生活に必要な実際の習慣を身につける。 ・体調や健康・安全を意識して生活する。 ・衣食住の知識と技能を実生活に活かす。
		心の安定 □不安定になった時に、身近な大人と一緒に落ちつく方法を身につける。	□不安定になった時に、身近な大人に伝え、自分で落ち着く。	□生活や学習上、自分にできないことや人の意見を受け入れ、解決しようとしたり、支援を求めたりする。 (作業学習のねらいから) □働くために必要なスキルを身につける ・(人とやりとりする力)指示の受け入れ・情緒の安定
友だちとなかよくします	人 間 関 係 形 成	自己と他人の理解・協 □遊びの中で友だちや身近な大人とかかわりながら一緒に活動する。 □友だちの存在に気づき、友だちに关心をもつ。 □友だちにかかわったり、友だちの働きかけにあわせた活動をしったりする。 □進んで集団の活動に参加する。 □友だちに自分の思いを伝えようとする。 □友だちや自分のよいところがわかる。	□自分の長所や短所がわかる。 □自分と友達の違いを知り、相手の気持ちを理解する。 □自分の意見や見聞きしたことなどを相手にわかるように伝える。 □集団の中で自分の意見を言ったり、友達の話の聞いたりする。 □自分の発言・発達や、男女の身体の違いを知る。	□自分や友達の違い・長所・短所を理解し、互いに認めあう。 □相手の気持ちや立場を考えて行動する。 □自分の意見を適切に伝える。 □集団の中で、自分の役割と責任を理解し、互いに協力しあいながら行動する。 □男女の身体の違いに理解を深め、友人や異性と豊かな人間関係を育む。
		援助 □困った時に援助を求めたり受け入れたりする。 □助けてもらった時に、感謝の気持ちを伝える。	□困った時に自ら援助を求める。	(作業学習のねらいから) □働くために必要なスキルを身につける ・(人とやりとりする力) 協調性・相談

学 部		小学部	中学部	高等部
キャリア 発達段階		生活に必要な基礎的な力を獲得する時期	職業及び家庭生活にかかわる基礎的な力を 獲得する時期	職業及び卒業後の家庭生活に必要な実際の力を 獲得する時期
七箇条	方 針 領 域	日常生活に必要な力を身につけるとともに、様々な体験や学習を通して、人間関係を学び、主体的に生活しようとする基礎を身につける。	基本的な生活習慣が定着し、基本的な社会のルールを学び、主体的に生活する力を育むとともに、作業学習や校内実習などを通して働く喜びを感じ意欲を持つ。	現場実習・作業学習等を通して進んで働く意欲を持ち、卒業後の職業・社会生活に必要な実際の知識や技能・態度を身につけ、よりよい進路選択を行う。
授業に真剣に取り組めます	意 思 決 定	目標設定・責任感・学習の定着 □学習への姿勢(正しい姿勢・集中)をとる。 □好きな遊びや活動を選択して取り組む。 □指示を理解し、自分のやる事がわかって活動に取り組む。 □学習を振り返り、楽しかったことや頑張ったことを表現する。	□集中して話を聞く。 □自分の決めた目標に向けて自ら取り組もうとする意欲をもつ。 □自分の課題に対して責任を持ち最後まで取り組もうとする。 □学習後に、よかったことや反省点を考え、次の取り組みに活かそうとする。	□全体への指示を聞いて、活動に取り組む。 □学習後にできたこととできなかったことを明確にし、より客観的・建設的に自己評価する。 □将来の職業や生活に見通しをもち、今取り組むべき課題や目標を考えて学習に取り組む。 (作業学習のねらいから) □働くために必要なスキルを身につける ・(作業を行う力) 正確さ・仕事量・持続力・期限内・ 能率の安定性・手順の理解・製品の取り扱い・衛生管理 ・(自分で作業を進める力) 状況の変化やその場に応じた作業の計画と実行 作業の振り返り・問題点把握・目標決定
伸ばし得る力を 伸ばします	将 来 設 計	適正・余暇活動 □様々な活動を体験する。 □好きなものや活動を増やす。 □思う存分活動に取り組む、充実感や達成感を持つ。	□好きな活動や得意なことを学習にへつなげる。 □学校生活の休憩時間・HR等を有効に使って好きな活動を楽しむ。 □様々な余暇活動を楽しむ。	□適性を伸ばし、仕事に活かす。 □卒業後の生活における余暇の過ごし方を考える。
進んで はたります	意 思 決 定 処 理 ・ 将 来 設 計	勤労意欲 □後片付けや準備、簡単な手伝い、クラスの係仕事を、教員と一緒にする。 □後片付けや準備、簡単な手伝い・クラスの係仕事を一人でする。 □「ありがとう」と感謝される経験を積む。	□グループの掃除や係仕事、学部の係仕事を進んでする。 □作業学習を通して働く喜びを持ち、意欲を高める。	(進路学習・現場実習) □将来の職業や生活について考える。 (進路学習・作業学習・校内実習・現場実習) □卒業後に働くことへの意識を高める。
		進路決定 □身近に働く人や職業、中・高の生徒の作業している様子に関心を持つ。	□高等部の生徒の作業学習や福祉施設の見学などを通して、働くことに関心をもつ。 □社会に様々な仕事があることを知る。 □将来の夢や仕事について考える。	(進路学習・現場実習) □主体的に進路を選択する。
		金銭 □お金を払って物を得ることを知る。 □簡単な買い物ができる。 □いろいろな金種があることを知る。	□買い物において、金銭のやりとり慣れる。 □予算を意識した買い物ができる。	□労働の対価として給与の意味を理解する。 □生活するのに必要な生活費や計画的な消費の方法を知る。